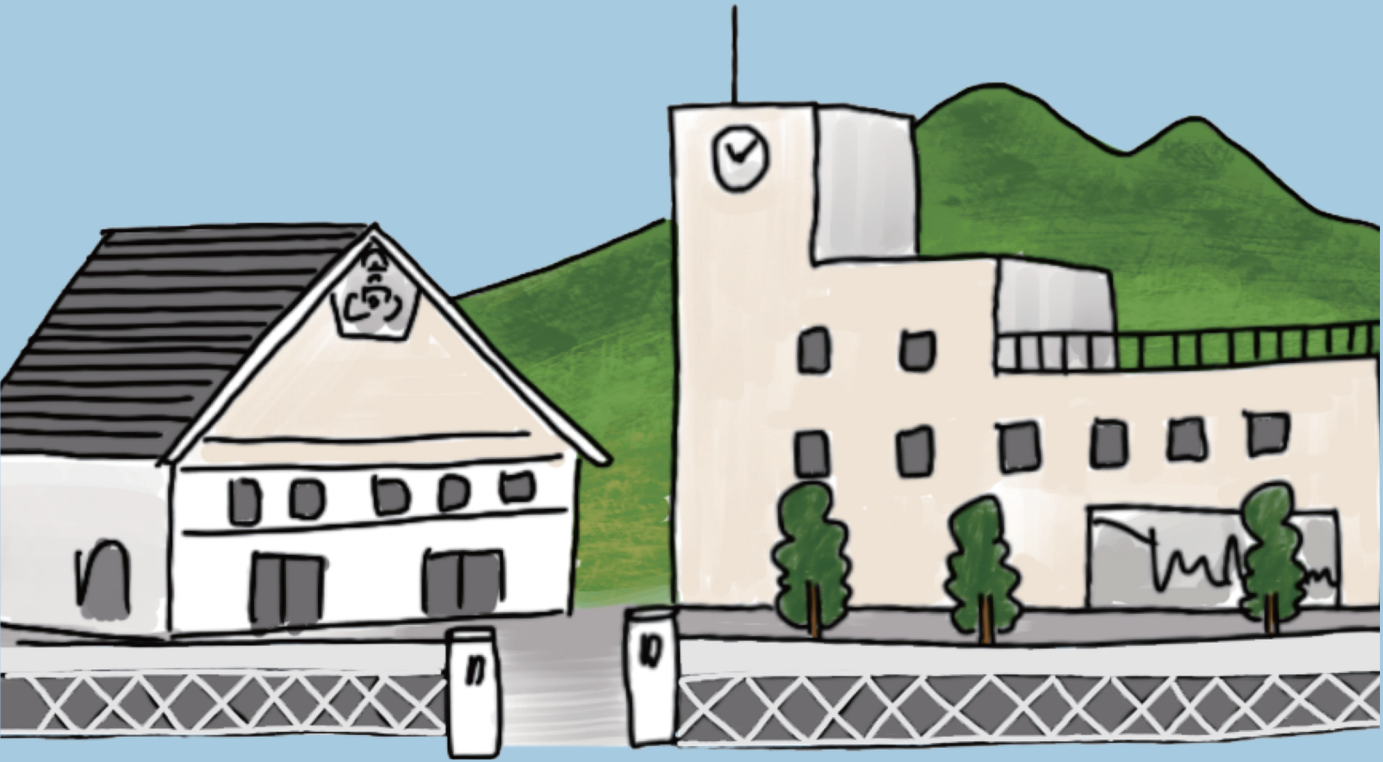




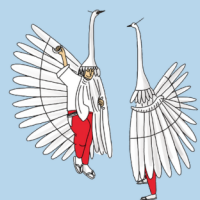
一般財団法人つわの学びみらい



わたしが変われば まちが変わる
まちが変われば 世界が変わる

~学び続ける・問い続ける・変わり続ける町~

津和野町って こんなまち



人口 6,350人
世帯数 3,206世帯
(令和7年2月末時点)

津和野町



保育園(子ども園含む) 7園
小学校 4校
中学校 2校
高校 1校

まち全体を 学びの場に



2005年に、旧日原町と旧津和野町が合併して誕生しました。江戸時代に津和野藩として栄えて以降、古き良き日本の歴史と伝統を受け継いできた風土が残り、明治の文豪・森鷗外や画家の安野光雅氏の出身地でもある、文化の薫り高いまちです。

まちを流れる高津川は日本一の清流としても知られ、他にも島根県内最高峰の安蔵寺山(あぞうじざん)など、豊かな自然があふれるまちです。



はじまりは 津和野高校統廃合の危機

2011年、生徒減少による統廃合の危機に面した津和野高校で、高校魅力化の取り組みが始まりました。

小さなまちの、小さな公立高校を舞台に、学校と地域、県、世代を超えた協力体制によって様々な挑戦を続け、今につながっています。魅力化の流れは保育園、小学校、中学校へと広がり、コーディネーターが行政の関係部局をはじめ、各園や学校と協力・協働して進めています。そして教育によるひとづくりをまちづくりへと発展させるべく、新たな価値の創出に取り組んでいます。

2021年、子どもたちの教育環境の向上や教育を通じたまちのさらなる活性を目的に、津和野町の100%出資により「一般財団法人つわの学びみらい」が設立されました。津和野町の未来を担う人材像である「大人になっても自ら学び続ける」ひとづくり、そして成長が循環するワクワクするまちづくりを目指して活動しています。

昔も今も、 教育を柱としたまちづくり

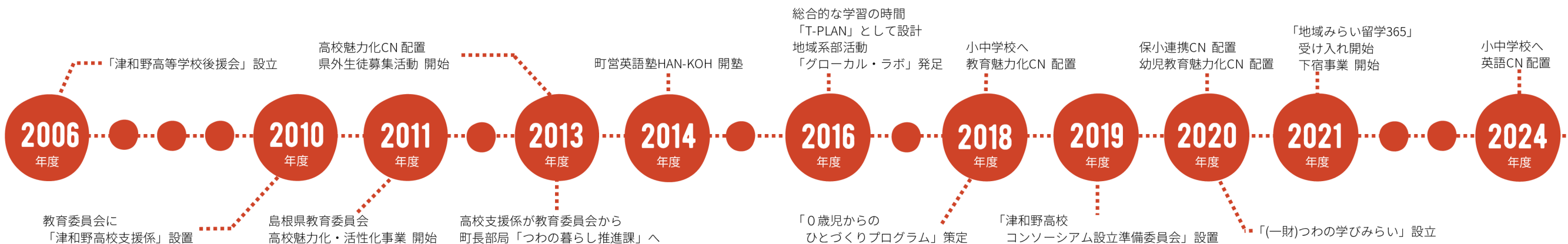


津和野町には、困難に直面した時こそ教育に投資することで人を育み、まちをつくり、そして人とまちを守ってきた歴史があります。例えば江戸時代には、様々な災害や大飢饉に見舞われ財政難に陥りましたが、人材育成のため藩校養老館を設立しています。また昭和初頭には、旧制津和野中学校を独自に設立するための運動と寄附活動を行いました。明治初期を代表する思想家西周(にしあまね)も、養老館出身です。



津和野町教育魅力化のあゆみ

※CN:コーディネーターの略



地域の方と1対1で対話



HAN-KOHの授業の様子



見て触って体験的に学ぶ



地域の方を講師に招いた授業

0歳児からのひとづくりプログラム

課題を見抜く力/対話する力/行動・創造する力の3つを育てるために、各発達期にあった取り組みを展開しています。



HAN-KOH
(みらい共創センター)

津和野町内の中学生/高校生なら誰でも無料で利用できます。多様な人と出会い新たな価値を創出する場、自習や個別指導などの学習場所、リラックスする居場所等、みらいを創る拠点として活用していただけます。みらい共創コーディネーターに、自身のプロジェクト活動の相談もできます。地元の農家さんからいただいたお米でつくるおにぎりも食べられますよ。

みらい共創コーディネーター

「まち全体が学びの場」となるよう学校だけでなく、自治体や関係機関、企業、団体、大学など、多様な組織や人と関わり協働することで、かけ算のように学びの機会を増やすことに取り組んでいます。

津和野町で育った人材が循環し、多様な人と交わることで新たな視点や価値を生む、そんな"成長が循環するワクワクするまち"を目指してコーディネーター自身も変化し、チャレンジし続けています。

／ つわの学びサポーターズ募集中です！ ／

津和野町のひとづくり、そしてまちづくりを応援してくれる仲間(つわの学びサポーターズ)を募集しています。毎月一定額(500円～)を継続的にご寄付いただき、津和野町の子どもたちが地域に出て学ぶ際など、私たちの活動に活用させていただきます。

サポーターズ限定の活動報告会や意見交換会等みなさんとの交流を通して、一緒にワクワクする未来をつくっていききたいと思います。
詳しくはHPをご覧ください。



一般財団法人つわの学びみらい

〒699-5605

島根県鹿足郡津和野町後田ハ12-3

TEL: 0856-72-1506

E-mail: info@tsuwano-mm.org

